

芸能保存会よりお礼申し上げます

本年の秋祭りを盛り上げてくださった三面や山車に對して、皆様方から大きなご声援並びに各方面よりご祝儀をいただきましたこと、田殿丹生神社芸能保存会よりこの場をお借りいたしましたしてお礼申し上げます。ありがとうございますございました。



来年は長田区（一番字）

三面の責任区（一番字）の順番は今年から五巡目になりました。来年は長田区が一番字となります。その後は角・田口・上中島・井口・出・尾中・大谷・賢の順となりますが、田殿地区全体が責任区に協力すること、今年も区長会・総代会で確認してくださいました。人口の減少、子どもの激減の中で三面や山車の継承。大きな課題がいくつもありますが、田殿の宝を守るためにもいろいろからどうかこれからのいろいろな方のお知恵とお力をいただきたく、よろしくお願いいたします。す。



秋祭りと言えば

和歌山の「なれずし」は日本三大なれずしの一つで、八〇〇年以上の歴史があると言われている。秋祭りにはぜひ食したい有田の食文化です。今年も無事に出来上がり、お祭りの後の直会（なおらい・お供えをいただき神様に近づく大切な行事）の席で、お祭り前に仕込んだ白酒（どぶろくの事前）とともに飲んでいただきました。



敬神婦人会のお力なければ：

十月五日早朝より敬神婦人会の理事さん方が境内や社殿、参集殿の大掃除をしてくださいました。今年の猛暑の異常さを証明するよう、桜やケヤキの落葉が尋常ではなく、たいへんご苦労をおかけしましたが、お陰様で清々しい雰囲気の中で秋祭りを挙行することができました。これからさらに落ち葉の季節です。どうかお助け下さいますようお願いいたします。

しめ縄づくり〜新わらの香り〜

十月一日、総代さん方がしめ縄づくりのご奉仕をしてくださいました。天日で干した香り高い新わらをきれいに整えて、大小二十五本のしめ縄を作り上げてくださいました。年末に総代さん方の手で掛けかえてくださいます。



神宮大麻をおまつり下さい

十月二十七日、和歌山県神社庁有田支部の神宮大麻頒布始奉告祭が顯國神社にて行われました。新年には伊勢神宮のお神札（おふだ）「神宮大麻」を田殿丹生神社のお神札とともに届けさせていただきます。「神宮大麻」は伊勢神宮の日本をお守りくださる天照大御神さまのお神札です。私たちをお守りくださる氏神様のお神札とともにおまつりください。

七五三詣 お子様の成長を感謝

七五三は三歳の「髪置」五歳の「袴着」七歳の「帯解」に由来し、秋の収穫の後に子どもたちの成長をお祝いし、氏神様に感謝をしたのが現在に至っています。田殿丹生神社ではお守りや千歳飴、お土産を用意し、皆さんのご参拝をお待ちしています。ご祈祷につきましてはご希望の日時をご予約下さい。お待ちしております。

ホームページへもお越し下さい

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~taidononjiniya/>

